施工説明書・取扱説明書

2管式湯水混合水栓柱
ツインクルピラーシリーズ
(G21KS,G21KSS, G23KS, G26KKS, G26KKSS)

●工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡しください。

●お客様へ
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方が
いつでも読める所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

……「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください)

……「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

……「分解してはいけません!」

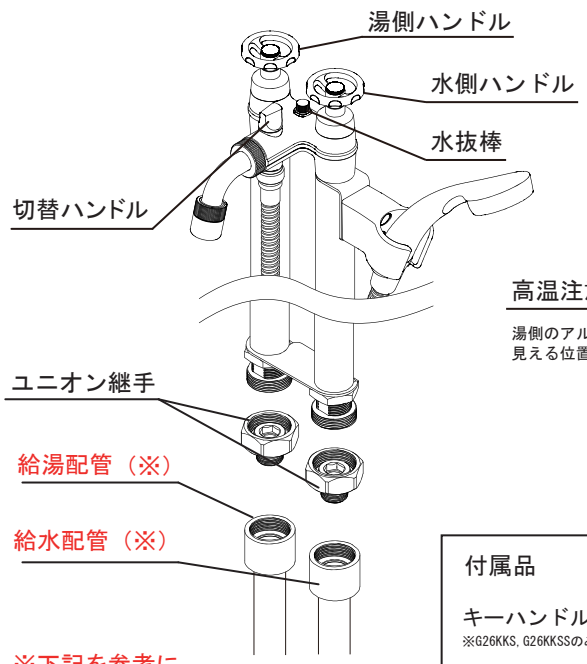
……「指示した場所に触れてはいけません!」

……「指示通りにしてください!」(一般的な行動指示記号です。)

施工説明書

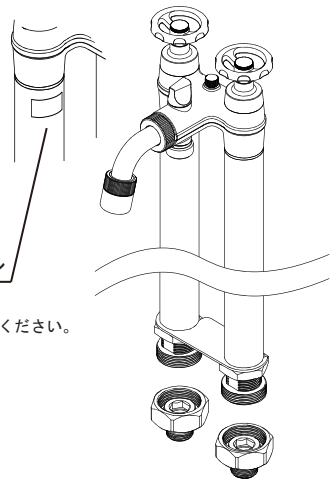
水栓柱について 各部の名称

G21KSS(ツインクルピラー シャワー付き)



※下記を参考に、
必要な部材を別途手配してください。
●シールテープ
●給水配管:HI-VP仕様(呼び径13mm)

G21KS(ツインクルピラー)
G23KS(ツインクルピラーショート)



付属品

キーハンドル 1個 ※G26KKS, G26KKSSのみ

逆止弁 2個 ※全品番共通

高温注意シール ※全品番共通

施工について 施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(損害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認すると共に、工事店様は説明書に沿って、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●施工は水道水、その他の関係する法規などに従ってください。

⚠注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

凍結が予想される地域では、必ず凍結防止策を講じてください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
水抜栓の設置が一般的です。

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

配管の埋設深さは、各自治体ごとに決まり(凍結深度)がございます。
凍結深度が100mmより深い場合は、自治体の指示に従ってください。
凍結深度に満たない場合、凍結破損による水漏れなどのおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで
0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

〔温度について〕

最高使用温度	60度

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

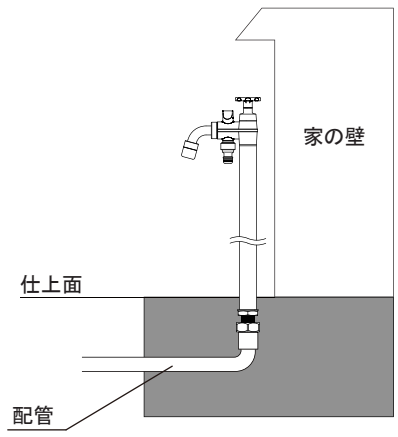
施工について 施工手順

①設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

⚠注意

●水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
●基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分
強固な上に設置してください。
※正しく固定しないと水漏れ等の原因になります。
●給水は、上水道に接続してください。
●開梱、施工の際は製品に傷をつけないよう
ご注意ください。



②水栓柱の取付け

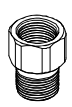
水栓柱を所定の位置に立てかけ、給湯・給水配管にユニオン接手を接続します。
次にユニオン接手に水栓柱を接続します。

⚠注意

●取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い
流してください。
●給水・給湯配管は右側が給水、左側が給湯です。

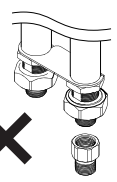
⚠注意

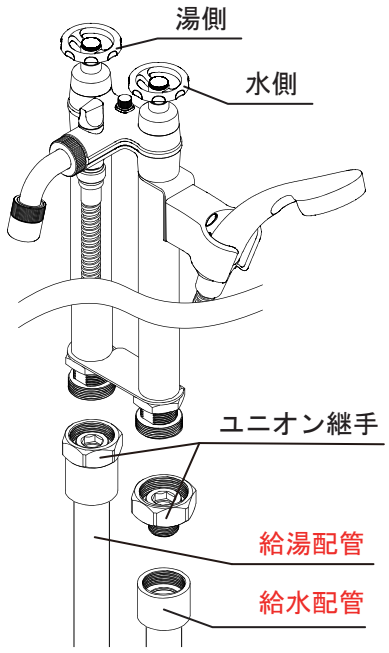
(付属の逆止弁について)
●水側と湯側のメンテナンス可能な配管途中に
取付けてください。
●正しい通水方向で取付けてください。



通水方向

●給水・給湯配管取付足に直接取付け
ないでください。





③通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。
注:このとき、確実にフラッシングを行ってください。
フラッシング:蛇口を全開にして、約30～60秒間勢いよく通水を行ってください。

施工後数日～数ヶ月で『水がでない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。
その一番の原因は『フラッシング不足により蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。
フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、
丁寧に取り除いてください。

取扱説明書

ご使用について　ご使用に関する安全上のご注意

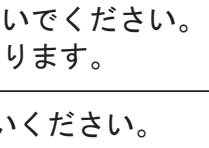
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告

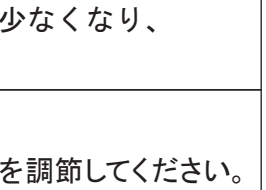
小さいお子様だけのご使用は避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

⚠注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。

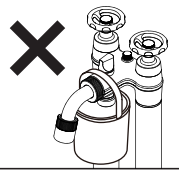


解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

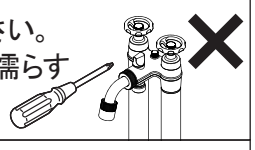


飲用はしないでください。
体調を損なう原因になることがあります。

吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水口部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。



分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



夏期や日中（昼間）には器具本体が高温になる場合があります。
金属の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。

水栓の左側には直接肌を触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
高温のお湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。
吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。

使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、においることがあります。

湯を使用する時は水側ハンドルから開いてください。
その後、徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。
湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

湯を止める時は、必ず湯側のハンドルから閉めてください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

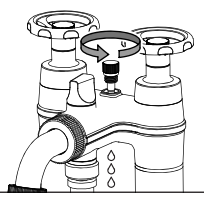
ハンドルはゆっくり回してください。
ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

ご使用について　凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水抜栓を開け、水栓より水を出してください。
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
　一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、
　確実に凍結予防策を講じてください。
※水道が凍結する地域でご使用する場合は、水抜栓を設置してください。



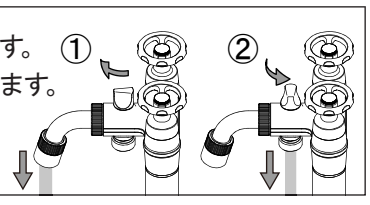
ご使用について　操作方法

吐水ハンドルをまわして、湯水の調整ができます。

向かって左側の吐水ハンドルをまわすと湯が流れます。
向かって右側の吐水ハンドルをまわすと水が流れます。
温度および吐水量を調節してください。

切替ハンドルをまわして、通水方向を切り替えることができます。

切替ハンドルを時計回りにまわすと図①のように水が流れます。
切替ハンドルを反時計回りにまわすと図②のように水が流れます。
※可動範囲は90度です。
　それ以上、まわそうとすると破損の原因になります。



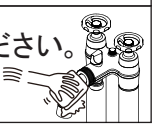
日頃のお手入れ　汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、
　よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
　※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわしなど

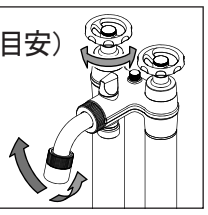
洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。



定期的な点検　可動部分の点検

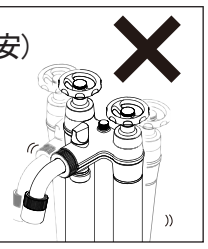
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。
放置すると故障の原因になりますので、修理をご依頼ください。
吐水口の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口と切替ハンドルを回してください。（月1回を目安）
長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、
無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。
回らなくなった場合は、修理をご依頼ください。



定期的な点検　配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



こんなときは　故障？その前に

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ゴミづまりはありませんか。	ノンライジングバルブ部にゴミかみがあれば取除き、傷があれば交換する。
高温しかでない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	ゴミづまりはありませんか。	ノンライジングバルブ部にゴミかみがあれば取除き、傷があれば交換する。
水はねが気になる	――――――	ハンドルで流量を調節する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

【お客様窓口】〒501-2104　岐阜県山県市東深瀬94-2
TEL：0581-23-0570　　受付時間9：30～17：00（土・日・祝日は除く）
ＵＲＬ　https://www.mizsei.co.jp/
MIZSEI 株式会社水生活製作所